



## 法人便り 9月号

令和7年9月5日

保護者・ご家族、そして職員の皆様

社会福祉法人聖母の家  
理事長 植木 存

危険な暑さと熱中症の心配が残されていますが、秋の気配が僅かながらもようやく感じられる頃となりました。この夏は蝉の鳴き声が少なく蚊も少ない様子でした。しかし、季節は移ろい始めています。ツクツク法師が数日前から鳴き始めました。晩夏、初秋の蝉です。

皆様におかれましては、ますますお元気のことと存じます。平素は当法人の運営に格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼と感謝を申し上げます。

**《映画二編》** 皆様は『父と僕の終わらない歌』という映画をご存じですか。

～アルツハイマー型認知症が進行する父(寺尾聡)の元へ、母(松坂慶子)の知らせで僕(松坂桃李)は帰ります。ある日、家中の家具や荷物をひっくり返し外に放り出す父の姿に呆然と静かに見守る母、僕の目は、父が何かを探していることに気づいた。それは、父が元気に楽しく仲間と歌ったバンドの録音テープであった。テープを探し当てた父は、『お前は俺のスターだ』と僕に言った。エンディングには、ナット・キング・コールのSmileが流れます。誰でも聞いたことがある懐かしみの感じる楽曲です。

行動の元には、必ずや意思がある。言葉や表現が乏しく見えるようであってもご本人があらわす行動の元には意思や主張が隠されている。ご本人が求めたところを探り当てる意味にその大切さがあります。問題行動は実は問題提起行動なのです。コミュニケーションをおろそかにした支援は成り立つはずがありません。コミュニケーションを通じて心通い合う人間関係の形成を目指してまいります。

**父と僕の終わらない歌公式サイト**



『**国宝**』という映画をご存知でしょうか。吉沢亮が主演する歌舞伎の世界が舞台です。芸の道を極めようとする人々の情熱や生き様が描かれます。

この「国宝」という言葉を聞いたとき、私はふと、施設で日々を過ごす皆様お一人おひとりの顔を思い浮かべました。

映画では、生まれや環境の逆境を乗り越え、ただひたむきに芸と向き合う主人公の姿が描かれています。それは、私たちが日々目の当たりにする、利用する人たち、お一人おひとりの姿と重なります。

物事に集中的に取り組む姿。誰にも真似できないような独創的な出来栄え。仲間と協力し、一つのことを成し遂げたときの、満面の笑顔。その一つひとつが、私たち職員にとって、心を揺さぶられるほどの輝きを放っています。

「国宝」は、美術品や歴史的建造物だけに限りません。その人が持つ、誰にも代わることのできない個性や、懸命に生きるその姿こそが、社会にとっての「宝もの」なのではないでしょうか。

## 国宝公式サイト



私たちは、利用する人たち、お一人おひとりが、その人らしく、豊かに、そして自分の人生の主人公として輝きながら堂々と生きていくことができるよう、その人生のより良きパートナーでありたいと、心から願っています。

ご家族の皆様、そして地域の皆様から賜っております温かいご理解とご支援は、私たちの活動にとって何よりの喜びと力となっています。

この二編の映画作品に込められたメッセージに思いを馳せながら、私たちも利用する人たち、お一人おひとりの価値ある人生と真摯に向き合っている所存です。

今日の日をより良く生きるために、皆様どうぞご自愛ください。

みんな、同じ社会、同じ時代、同じ空の下で生きて行く者同士です。

